



ニッセンケンの試験メニューを
世の中のいろいろな話題と自由きままにミックス!



COLUMN 試験担当者のひとり言

お役立ちな独白 10 続編・防臭性能を検証～スーパー備えつけのポリ袋に防臭性能はあるの?～

2025.10.20

第 7 回のコラムでは、パン袋と防臭袋の防臭性能を比較しました。ありがたいことに、多くの方から感想や質問をいただき、大きな反響となりました。バイオケミカルグループ同、大変うれしく思っています。

その中で、読者の方からこんな質問をいただきました。

スーパーのサッカー台に置いてあるポリ袋の防臭効果はどうかの?

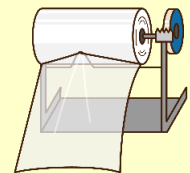


みなさんご存じの、ロール状になっている薄手のポリ袋。野菜やお肉を入れたり、キッチンのちょっとした保存に使ったり、日常生活で幅広く活躍していますよね。軽くて便利、というイメージが強いのですが、果たして防臭性能はどの程度あるのでしょうか。

バイオケミカルグループの各社員に予想をしてもらったところ、さまざま意見が出ました。

「薄いから、ほとんど効果はないはず・・・」

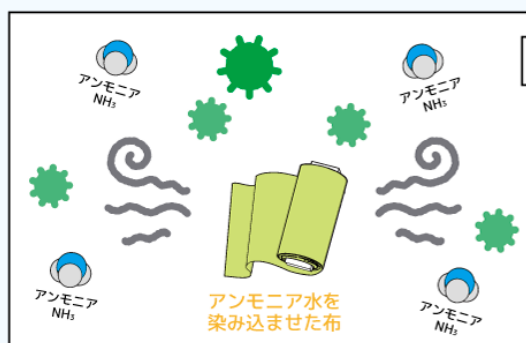
「短時間なら意外と効果があるかもしれない!」



確かにポリ袋の材質や厚みは、一般的な防臭袋とは大きく異なります。そこで今回は、この身近なポリ袋について、前回と同じ方法で防臭効果を検証することにしました。

■ 検証方法

- ① ポリ袋にアンモニア水を染み込ませた布を入れ、袋の口をしっかり結ぶ。
- ② ①の袋をサンプリングバッグに入れ、室温で所定時間(2 時間、4 時間、6 時間、24 時間)放置。
- ③ 比較対象として「袋なし(=ブランク)」も用意し、同様に測定。
- ④ 所定時間後、サンプリングバッグ内のアンモニア濃度を測定し、防臭率(%)を算出する。



袋なし(においがすべて漏れている)



ポリ袋から漏れたアンモニアの濃度を測定

■ 検証結果

結果は下の表のようになりました。

測定時間	2 時間後	4 時間後	6 時間後	24 時間後
ポリ袋:防臭率(%)	58.3	40.0	26.5	0.0

ちなみに、[前回調べた](#)パン袋と防臭袋の結果はこちらです。

測定時間	2 時間後	4 時間後	6 時間後	24 時間後
パン袋:防臭率(%)	94.3	90.9	86.1	11.8
防臭袋:防臭率(%)	96.2	95.5	93.3	76.5

※ポリ袋とは別日に実施

ポリ袋は 2 時間の時点である程度漏れてしまっており、時間がたつごとに防臭率は下がっていきました。最終的に 24 時間で防臭率は 0%となりました。日常生活で幅広く活躍するものの、残念ながら防臭を目的とした用途には適さないのかもしれませんが。前回の「パン袋」はポリプロピレン製で比較的気体を通しにくい素材でしたが、今回のポリエチレン製の袋は素材自体が気体を通す高分子構造を持っているため、そこが防臭率に影響したののかもしれません。

普段当たり前に使っているものでも、改めて検証してみると新しい発見があるものですね。

日常のさまざまな疑問をバイオケミカルグループのベーシックな試験とミックスしてお届けしている本コラムですが、読者の皆さまの「これはどうなんだろう？」という素朴な疑問や、各企業からのコラボレーションのご提案があれば、検証チャレンジをしてみたいと思いますので、ぜひお声がけください。

■ より実生活に近い視点で、“本当の価値”を見つけませんか？

今回のように、身近なものを実際に検証してみると、思っていた以上に発見があるものです。実際の生活環境では、素材や使い方によって結果が大きく変わることも少なくありません。そんな“リアルな条件”を踏まえて評価することが、製品の信頼性を高める第一歩だと感じています。

たとえば――

- 自社製品の防臭・抗菌効果を数値で確かめたい
- 特定の臭気成分や菌種で試験したい
- 実使用に近い環境でどのくらい効果が続くのかを見たい

そんな時は、どうぞお気軽にご相談ください。バイオケミカルグループでは、用途や目的に合わせた柔軟な試験設計をご提案しています。

「なんとなく良さそう」を、「確かに効果がある」に変える――その一歩を、私たちと一緒に見つけていきませんか？

ひとりごと執筆担当：ライフ アンド ヘルス事業本部 バイオケミカルグループ同 [ご質問はこちらからどうぞ！](#)